

今月のプレゼント

アンケートに答えると、抽選でプレゼントが当たります。
詳細は、ホームページで ID 30350



抽選
3名様



観光協会 横山さん

おすすめポイント

自然な甘味とすっきりとした後味が魅力です!

広報おわりあさひアンケート

- ① 今月号で良かった内容を教えてください。
- ② 取り上げてほしい内容を教えてください。
- ③ その他、広報誌に関するご意見をお聞かせください。
- ④ 市の魅力(場所・イベント・人・風景・グルメなど)を教えてください。(任意)

応募方法 8/14(金) 締め切り

①～④の答え、氏名・ふりがな、住所、電話番号、年齢を記入し、ハガキ(必着)、メールか右記二次元コードで

応募
フォーム▶



メール:kouhou@city.owariasahi.lg.jp

郵送先:〒488-8666 (住所不要) 広報戦略課

当選者のかたには、メールなどでお知らせ。

プレゼントの受け渡しは、尾張旭まち案内で行います。

プレゼントは、尾張旭まち案内でも販売中!ぜひお試しください!

尾張旭まち案内(グリーンシティビル1階)

10:00~18:00

定休日:木曜日(祝・休日を除く)



MAYOR SHIBUSAWA COLUMN

柴田市長
コラム

足下に泉あり!

ID 34636

vol.39



3.11の記憶

東日本大震災から、はや15年です。6月13日、念願の中央防災倉庫が落成式を迎え、本市の防災力は格段に強化されました。こうした機に、どうしても平成23年(2011)3月11日を思い出します。当時を知らない世代が増える中、時間をたどって、私の名古屋鉄道在職中の体験をご紹介します。

東日本大震災は、モーメントマグニチュード9.0、最大震度7、死者は約2万人の未曾有の激甚災害でした。私は名鉄の秘書室長で、社長とテレビの中継を見ながら身震いをしました。当該地域には、バス会社など多くのグループ会社があります。一方で、遠隔地かつ複数の会社の被災を前提とした支援マニュアルなどは何もありません。当日は金曜日でした。現地からの電話は途切れ途切れで、安否不明者の衝撃的な数と物資不足の訴えが混乱と共に伝わってくるばかり、全てが人知を超えた経験に社内の空気は凍り付いたようでした。

私は、自身が事務局を務める月曜の役員会が初動の鍵と考え、独断で対処組織立ち上げプランを作り、週末にトップと関係部署の根回しを済ませました。役員会では、組織横断

の全社対応とする総務部所管の副社長を議長とした対策会議設置案が、予定通り了承されました。私の(やや強引な)役割はここまで。以降は、この会議体が司令塔となって支援行動の統括を行いました。組織は一旦動き出しさえすれば、こんなにも的確に機能するのかと感心した記憶があります。

この時、私は何よりも初動の重要性を実感しました。そのためには緊急時の基本的な方針、体制組織、権限の代行順位、そして連絡ツールの整備が必須です。自然災害対策はどれだけシミュレーションを重ねても、必ず想定外をもたらします。最後は人の胆力、マンパワーを信じることに尽きます。

本市は「安全安心」を一丁目一番地の最重要施策として、市民の安全安心の暮らしを守るために注力してまいります。

「人事天命」。災害は正しく恐れましょう。

